

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので12月定例会では17名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、2月下旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

びみ問題について

本市のごみ問題について、次の質問が行われました。

質問：ごみ処理施策の代替案として示した市長の計画案の達成度について伺いたい。

環境部長：代替案で見込んだ平成27年度の削減量は1万1500トであるが、平成26年度末の時点で合計3247トの削減量で、達成率は約28%となっている。

質問：市長は、この代替案で必ずごみを減らせると言っていたが、この達成率をどう思つか。

市長：今年度末にごみ焼却量3万ト以下を目指して取り組んできたが、実現できておらず大変申し訳なく思う。

質問：戸別収集を導入する理由は何か。

市長：高齢者や子育て世帯のごみ出しの負担軽減が図れることや、ごみの排出状況が悪いクリーンステーションの収集環境の向上に効果があるなど、重要な減量施策の一つであると考えている。さらなる費用負担が生じるが、市民へ十分な説明を行い、燃やすごみについて、戸別収集を実施するこ

ととした。

質問：戸別収集の経費とごみの削減効果はどのくらいか。

環境部長：現在のクリーンステーション収集の経費から約4億円増額となる。また、実績データを踏まえると削減率は3・63%、年間約700トと推計している。

質問：700トの削減のために4億円かかると、1トあたり約57万円になる。市外にゴミの焼却を委託する場合の処理単価はいくらか。

同部長：焼却、運搬、溶融固化を民間に委託する場合は1トあたり約4万2千円、他の自治体に処理を依頼する場合は約3万5千円と考

えている。

質問：戸別収集を行う場合、予算以外に人員の確保の問題があるが、その見通しについて、どう考えているか。

同部長：戸別収集を実施するには、円滑な収集体制を確保する必要があり。収集車両や人員の確保は一つの課題と認識しており、収集事業者と協議していきたい。

質問：市長は、家庭で処理できるのは唯一生ごみである

観光の取り組みについて

本市における観光の取り組みについて、次のような質問が行われました。

質問：市は観光振興に重点を置いていくのか。そして産業振興をしていくつもりがあるのか。

市長：観光振興には消費の増大、都市イメージの向上につながる効果を地域経済の活性化や産業振興に結びつける重要な役割がある。そのため、本市としては産業振興につながる重要な施策として力を入れて取り組む必要があると考えている。

質問：市はターゲットをある程度絞り込み、観光客に来ていただくための現状把握、分析を行っているか。

市民活動部長：観光客の動向や意識について、入込観光客数調査と、来訪者アンケートなどにより把握しているが、現状把握等については、延べ観光客数、観光消費額などの数値把握にとどまっている。今後は、観光客の誘致につながる有効な施策を展開するため、観光行動などに着眼した分析が必要と考える。

と云ってきた。戸別収集を行う前に、市が責任を持って生ごみの収集、運搬、処理を検討すべきではないか。

市長：生ごみの資源化については、小規模な施設における処理方法を検討する予定である。なお、戸別収集については高齢社会を迎える中、必要と判断し、実施していきたい。

質問：観光案内所の整備について、その進捗状況を教えてください。

同部長：観光案内所の再整備は、来年度中の移設に向けてJ・Rと協議を進めており、観光客の目につきやすい位置に移設し、利用者へのサービスが拡充できるように協議を行っていきたい。

質問：鎌倉の観光振興には文化財が重要だと思ふ。文化財保護の経費についてどのような方針を持って予算編成しているのか。また十分な予算が確保されているのか。

文化財部長：予算は包括予算制度により編成し、緊急性、重要性などの優先順位に従って予算措置している。さらに補助金なども活用し文化財の保護に努めている。

質問：市内に多々ある重要な史跡は買った後が大変だと聞く。史跡の維持管理上の課題について、どういった認識でいるのか。

同部長：市内には国、県、市の指定を受けている42の史跡のうち、19史跡については市が適切に維持管理し、積極的に公開活用を図る必要がある。史跡の維持管理については、危険箇所の草刈りや高木の伐採などの経費を予算化しているが、限られた予算の中、平地の草刈りなどは職員が対応している。今後は、市民との協働など、経費を抑えながら管理する方法について、さらなる創意工夫を重ね、適切な維持管理に努める。

一般質問項目一覧

①山田直人（鎌倉みらい）

- 1 公共施設等マネジメントについて
 - (1)公共施設
 - (2)社会基盤施設
 - (3)歴史的風致維持向上施設

②久坂くにえ（みんな）

- 1 ごみ屋敷への対策について

③上畠寛弘（無所属）

- 1 文化財保護と研究・展示機関の充実
- 2 鎌倉市役所の人員整理・解雇、委託等人事戦略
- 3 鎌倉市職員労働組合による庁舎不法占拠等
- 4 納税課職員による度重なる公文書改竄等刑事的責任等
- 5 来夏の鎌倉の海の治安改善
- 6 子育て支援の充実と教育の強化
- 7 市長の政治姿勢と進退等

④保坂令子（神奈川ネット鎌倉）

- 1 鎌倉市の行政運営について
- 2 防災施策について
- 3 協働のまちづくりの推進と条例化について

⑤渡辺隆（みんな）

- 1 観光振興と文化財について

⑥竹田ゆかり（無所属）

- 1 鎌倉市教育大綱および重点施策について
- 2 個人情報保護について

⑦岡田和則（無所属）

- 1 ふるさと寄付金について

⑧吉岡和江（日本共産党）

- 1 ごみ問題について

⑨渡邊昌一郎（無所属）

- 1 行政の点検について
 - ・景観維持の点検
 - ・事務執行の点検
 - ・内部通報制度の点検
 - ・その他の点検

⑩小野田康成（鎌夢会）

- 1 公共用財産の活用について
- 2 里山の現状について
- 3 駐輪場の活用について
- 4 登下校時の安全確保について

⑪三宅真里（神奈川ネット鎌倉）

- 1 鎌倉市のごみ問題

⑫千一（無所属）

- 1 鎌倉市でもバリアフリーの講座を
- 2 鎌倉市民の障がいのある方ももっと社会参加を
- 3 特別養護老人ホームについて

⑬西岡幸子（公明党）

- 1 理想の地域包括ケアをめざして
- 2 ゴミ処理政策について

⑭中澤克之（無所属）

- 1 ゴミ処理政策等について
- 2 防災等について
- 3 子供たちの環境等について
- 4 行政事務執行等について
- 5 幕末・明治の鎌倉等について
- 6 鎌倉の観光政策等について
- 7 鎌倉市の財産等について

⑮赤松正博（日本共産党）

- 1 組合事務所移転問題について

⑯河村琢磨（みんな）

- 1 GSR自治体の社会的責任と地方創生について
- 2 シビックテクノロジーを利用したまちづくりについて
- 3 改正労働安全衛生法に基づく、ストレスチェック制度の実施について
- 4 18歳選挙権の施行に伴う市の対応について
- 5 雇用と教育の合理的配慮について
- 6 災害対策の観点から考える庁内サーバーのあり方について

⑰長嶋竜弘（無所属）

- 1 交通道路関連などについて
- 2 人事管理、労務管理、職員育成などについて

陳情の議決結果

今定例会では、8件の陳情が提出され、1件を採択、1件を継続審査とし、6件を全議員に配付しました。

採択した陳情

◇医者処方する薬の有効期限が、患者に判るようにする意見書を国・県に提出することを求める陳情

陳情の要旨および審議結果
市販薬は使用期限が記載されているが、医者処方する錠剤などがシートで渡される場合、使用期限の記載がなく不明であることから、製造最小単位における使用期限の記載を求める意見書を国・県に提出することを求めるもので、委員会・本会議ともに総員の賛成により採択しました。（可決した意見書は、4面をご覧ください。）

12月7日の本会議において「鎌倉市が一般社団法人トンネル技術協会に対して委託した「北鎌倉隧道安全性等検証作業」に係る事務について」の監査結果が監査委員から報告されました。監査の結果報告の内容は鎌倉市議会のホームページで公開しております。

かまくら議会だより 音声版・点訳版

「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と、鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版（収録テープ・デジ）と点訳版を作成しています。ご利用を希望される方は、議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。